

4 質の高い教育を
みんなに



世界の教育の現状を知る



大妻中野中学校 3年5組

目次

1. 世界の教育の現状



2. 課題と対応策



3. 高い質の教育を受けられないとどうなるのか



4 質の高い教育を
みんなに



1. 世界の教育の現状

発展途上国が抱えている問題



発展途上国の教育

世界には学校に通っていない子供や若者が2018年で約3億3000万人おり、それは、途上国に集中しています。

また、たとえ学校に通っていても、教材が不足していたり、先生が教える内容の質が悪いなどの問題もあります。

そのため、6億1000万人以上の子供や若者は、必要最低限の読解力や計算力を取得していません。その結果、読み書きができないまま大人になった人は世界で7億5000万人(63%が女性)いるのが現状です。



先進国の教育 ～世界教育水準ランキング～

世界教育水準ランキング
(教育が充実している)

- 1位 フィンランド
- 2位 オーストラリア
- 3位 エストニア
- 4位 デンマーク
- 5位 カナダ



先進国の教育 ～ランキング1位 フィンランドの教育～

教育の特徴

- ・ 教育費が無償→幼稚園(保育園)から大学まで学費がかからない
- ・ 中学卒業後**95%**が高校へ進学
- ・ 教員は博士号を取得することが必要→教員になることは難しい

教育環境の充実・高い進学率・教員の質の高さが質の高い教育に繋がっている



初等教育修了率

◆東アジア、太平洋諸島やヨーロッパ、中央アジア諸国、中南米諸国

→ 90%以上

◆サブサハラ、アフリカ諸国

→ 60%

◆南アジア諸国、中近東、北アフリカ諸国

→ 低い（不明な地域も多い）

ちなみに日本は100%

【参考】世界の就学率（初等教育）

アフリカ地域
が特に低い

南アジア地域も
低い

初等教育純就学率(%)

~39%



40~49%



50~59%



60~69%



70~79%



80~89%



90%~



不明



世界の識字率の現状

2020/8/31

ユニセフの調査

2011年～2016年における成人の識字率

世界⇒78% 後発開発途上国のみ⇒63%

大きく低下!

後発開発途上国...開発途上国のなかでも特に開発が遅れているとされている47カ国を指す。うち、33カ国は南スーダンやルワンダなどアフリカの国々である。

後発開発途上国の国では識字率が15%程度の国があったり20～30%の国も多くある。識字率が低いと事故が増えるなど生活面においても危険が増える。

4 質の高い教育を
みんなに



2. 課題と対応策

時間とお金



教育ができる国とできない国の環境の違い

	教育が受けられる国	教育が受けられない国
生活水について	水道から安全な水がいつでも出る	川や湖に片道何時間もかけて水を汲みにいかなくてははいけない
学費や教材費について	無償の義務教育制度がある → 受けさせなければいけない	貧困などが原因で、教材や教育費を払うことができない家庭が多い
男女の扱いについて	女子生徒も男子生徒も関係なくみんな学校に通う	女性より男性の方が優遇される慣習があるため男子生徒の方が優先的に学校に通うことが多い



教育が受けられない・質が低い 理由

貧困

主にアフリカの人達の収入源は農業であり、天候にも左右されやすく貧困になりやすいためなかなかお金が手に入らないことが多い。また、家計を助けるため働きに出る子供も少なくなく、貧困な家庭事情は教育を受ける機会を無くすことにつながる。

学校の数・教員不足

教育が受けられない子供の数に対し、学校、教員の数不足。その教員の中には十分な教育を受けていない状態で大人になっている教員が多いため、教員の質も問題視されている。

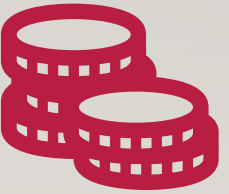
質の高い教育を行うために行っていること

アフリカでは、1990年代の就学率は52%でしたが、2012年には78%と大きく改善し、識字率も76%から86%まで改善しています。今後もさらに就学率を上げていくために次のようなことを行っています。

水・衛生環境の改善



学費の廃止



水・衛生環境の改善

水汲みは子どもの仕事

サハラ以南のアフリカでは、**飲料として安全な水源は30分以上離れたところにある**場合も少なくない。水源に行くまでの時間の浪費や、発展途上国の貧しい家庭にとって子どもは重要な働き手であることなどから、**学校に通う時間的な余裕はない**ことは問題となっていました。

効率的に作業ができる環境を整えることが重要になってきます。

**効率的に作業ができる環境を整えることが
子どもたちの学習環境を整えることに！**

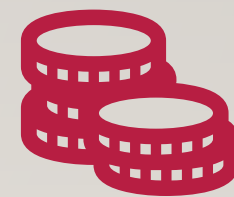


学費の廃止

家庭の経済面での影響は大きい

子どもが貴重な働き手であることやそもそも学費が払えずに学校に通えていない子どもも多い。事例として、ブルンジでは**2005**年に初等教育の授業料を免除した結果、始業初日に新たに**50**万人の児童が入学し、ウガンダでは学費を廃止した後女子の就学率が**20%**改善したことがあった。

無償教育の実現のためにはお金が必要
→ **寄付することで貢献できる！**



4 質の高い教育を
みんなに



3. 高い質の教育を受けられないとどうなるか

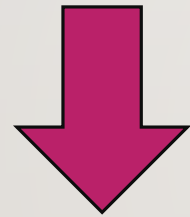
当たり前は当たり前じゃない




仕事を選ぶことができない

2020/8/31

- 読み書きを全くしない仕事はほとんどない。
- 企業が育たず国の経済も発達が難しくなる。



- 雇用機会も生まれづらく貧困も解決されない。


教育が
受けられない 



収入が少ない 

読み書き計算
ができない 



安定した職業に
就けない 

負の循環を繰り返すことになる

たとえば・・・

2020/8/31

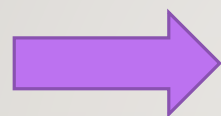
◆医師や看護師などの医療従事者は高いスキルが必要となるが、教育の機会を与えられていない人たちにとってはその職に就くことは非常に困難

国としての発展においても
負の循環



- 公共サービスを正しく受けられない

読み書きが
できない



必要な情報を得て理解すること、手続きすることができない。
意図しないトラブルを招く・悪意のある人に騙されてしまう

- 薬の説明や注意書きを読むことができない

字が
読めない



薬を正しく服用出来ない・危険なエリアに注意書きがされていても気づかずに命の危険にさらされることも起こりえる

安心した日常生活を送ることができない

まとめ

このように世界では質の高い教育が受けられていない人たちがたくさんいます。正しい情報を知ろうとして、今の私たちに何ができるのか考えることが大切なのではないかと思いました。

みなさんも是非なにができるか。考えてみてください。

ご覧下さり、ありがとうございました。